

鹿児島県漁海況週報

令和元年7月25日発行(7月18日～7月24日)
第2813報(旧暦:6月16日～6月22日/月齢15.3～21.3/潮汐:大潮～小潮)



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、7月22日現在、竹島の北1.7マイル付近にあり、接岸している。

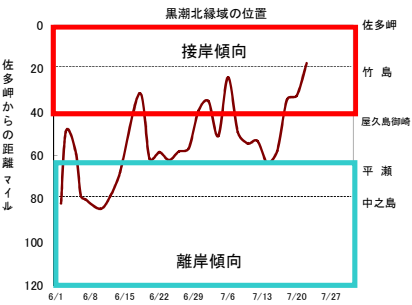
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、7月24日現在、71マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して鹿児島、中之島、与路島で0.4～0.9℃降温し、その他の海域で0.2～1.8℃昇温した。

平年比較では、甌海峡で“やや高め”，黒潮流域、竹島で“平年並”，鹿児島、佐多岬、与路島で“かなり低め”，その他の海域で“やや低め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	29.3	+0.5	-0.0	平年並
鹿児島	25.8	-0.9	-1.7	かなり低め
佐多岬	25.6	+0.5	-1.6	かなり低め
竹島	27.4	+1.8	-0.3	平年並
屋久島御崎	27.4	+1.0	-0.9	やや低め
中之島	28.0	-0.5	-0.7	やや低め
笠利崎	27.9	+0.6	-0.6	やや低め
与路島	27.2	-0.4	-1.0	かなり低め
与論	27.9	+0.2	-0.7	やや低め
甌海峡	28.0	+1.4	+0.8	やや高め

鹿児島一那覇定期客船観測は7/22-24
串木野一鹿児島定期客船観測は7/24

【漁況】

○定置網

甌島海域では、週計でシマシ(0.5～2.5kg)が156kgの入網。西薩南部海域では、マルソウダ(500g)が1～1.5トン/日、キンガメアジ(1～1.5kg)が100～200kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でヒラソウダ(1kg)が2トン、シイラ(2～5kg)が380kg、アカマス(200～400g)が280kg、ヤマトマス(200～400g)が280kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で36統がカマス類、マジ豆、ウルメイワシ主体に39トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でウルメイワシ、マジ、カマス類主体に8.9トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、4～25箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、2～20箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計で4箱の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、1日のみ小トビを40箱/統、大トビを10箱/統の漁。屋久島海域では、セトビを21～40箱/統・日、中トビを5～9箱/統・日、青トビを1～3箱/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ羊釣の漁況は下記の表に記載しています。)

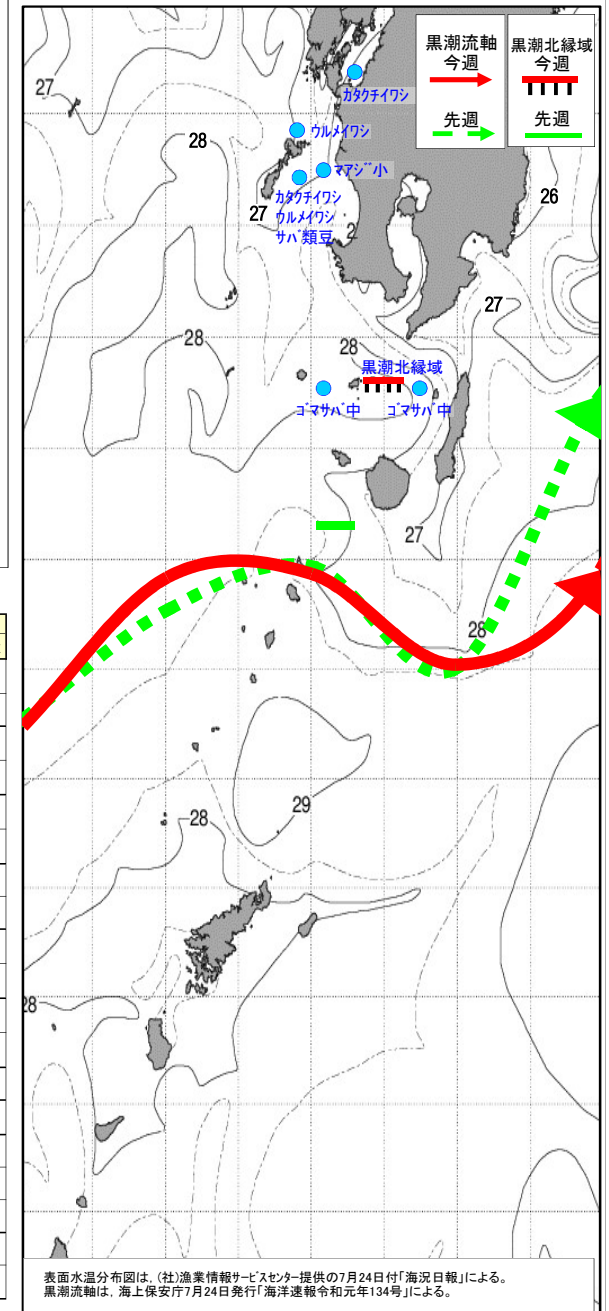
業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2766報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	6	80	甌東 縄瀬	ウルメイワシ36 カクチイワシ34 サハ類豆9	13.4	2	6	2	14
		中	4	25	長島 串木野沖	カクチイワシ82 マジ小6	6.2	9	51	0	—
	枕崎	大	0	—	—	—	1	3	0	—	
		中	6	90	馬毛島 湯瀬	ゴマサハ中94	14.9	3	14	0	—
	内之浦	中	0	—	—	—	2	11	0	—	
	山川	中	0	—	—	—	0	—	0	—	
	計	大	6	80	—	—	13.4	3	9	2	14
中	10	114	—	—	—	11.4	14	76	0	0	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	41	107	阿久根沖 長島	ウルメイワシ95	2.6	45	80	18	23	
	内之浦	1	3	内之浦沖	ウルメイワシ100	3.3	0	—	0	—	
定置網	内之浦	36	39	—	カマス類40 マジ豆26 ウルメイワシ7	—	40	20	28	28	
刺網	阿久根	39	6	甌	キビナゴ100	0.2	57	9	26	3	
カツオ羊釣	枕崎	大	0	—	—	—	0	—	0	—	
		小	0	—	—	—	0	—	0	—	
	海外旋網	海旋	1	500	—	カツオ中55 キハダ39	499.7	0	—	1	621
		山川	中	0	—	—	—	1	2	3	35
海旋	0	—	—	—	—	1	1140	0	—		

○その他

甌島海域では、一本釣りでマジナ(700～800g)を15kg/隻・日の漁。西薩海域では、かごでシロサバク(200～300g)を300kg/隻・日の漁。ごち網でマダイ(1kg)を4～30kg/隻・日の漁。一本釣りでイサキ(500～600g)を3～20kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網で1日のみヒゲナガエビを50～100kg/隻の漁。一本釣りでアカハタ(500g)を5～15kg/隻・日、イサキ(200～500g)を10kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣りでコマサハ(700g)を50～60kg/隻・日、イサキ(400g)を20kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でハモ(600～700g)を40～50kg/隻・日、カイワリ(100～200g)を40kg/隻・日、イホダイ(100～200g)を20～30kg/隻・日、マダイ(600～700g)を20～30kg/隻・日、チダイ(300～400g)を20～30kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣りでアオダイ(0.7～1kg)を30～150kg/隻・日、ハマダイ(2～3kg)を100kg/隻・日、カンパチ(3～20kg)を50～60kg/隻・日、コマサハ(600～700g)を50～60尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、延縄の4日操業でマダイ(4～5kg)を100kg/隻、ムツ(1～2kg)を80kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の7月24日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁7月24日発行「海洋運報令和元年134号」による。